令和４年度 事業計画

新型コロナウイルスの変異株が世界各国で拡大し、令和４年始めより日本国内でも強い感染力によって感染者の急激な拡大が続く中、経済活動と感染防止対策の両立に大きな不安を抱えながら法人企業などにとっては、事業運営の難しい判断が迫られる状況にあります。

川越市においては市制施行100周年という節目の年、新型コロナウイルスの影響や少子高齢化が進行する中、市や民間企業などからはますますシルバー人材センター会員の活躍が期待されております。引き続き市や関係機関と連携しながら当センターの事業活動を一層強化・充実させる必要があります。

令和４年度も、新型コロナウイルスの影響によりセンターを取り巻く環境は厳しい状況が続くものと思われますが、第４次中期５ヵ年計画に基づき、安全対策を講じながら、会員の増強や就業機会の拡大、安全・適正就業の徹底を柱に、地域高齢者福祉の担い手として社会の発展に貢献できるようシルバー事業を推進してまいります。

◎令和４年度の重点実施事業

①会員の増強

「出張入会説明会」と入会説明会の開催を増やすとともに、シルバー入会への大きなきっかけとなる一人一声運動の更なる充実を図り会員の増強や様々な広報活動を検討しセンター事業の周知に努め会員の増強を図ります。

また、市民交流の場として講座やイベントなどを企画し会員の増強に努めます。

②就業機会の拡大

会員のスキルを活かした就業先の開拓に努めるとともに、会員に対して免許及び資格、就業等に関するアンケートを実施します。

更に、「出張就業相談会」等の就業相談会を継続して実施し、就業機会の提供に努めます。

③安全・適正就業の徹底・推進

事故事例や事故防止の情報共有を図り、安全就業意識の周知徹底に努め、事故撲滅を目指します。

また、フレイル予防教室や日々の健康管理に役立つ講習会等の実施や適正就業について継続的な推進に努めます。

④地域活動の強化と組織体制の充実

新型コロナウイルス感染症拡大により活動停滞を余儀なくされている地域班活動について、地域班の見直しを検討しながら、各地域の自主的な会員の交流機会などの開催協力に努めます。

１．会員の増強と普及啓発の促進

（１）会員の口コミによる一人一声運動を拡充するため「(仮称）会員ご紹介カード」を作成し、会員の増強を図ります。

（２）女性会員の就業体験発表や交流会、趣味講座などの企画を有効活用し、市民の参加も呼び掛けながら女性会員の増強に努めます。

（３）「出張入会説明会」や入会説明会の開催を増やし、会員の増強を図ります。

（４）法人及び個人の賛助会員の拡大に努めます。

（５）多くの会員が参加でき、親しみやすい会報となるよう努めます。

（６）ホームページの充実を図り、シルバー事業に関する情報発信に努めます。

（７）会員だけに留まらず市民にもシルバー人材センターの名を広めるため市内での会員作品展などの開催を企画し、シルバー事業の効果的な紹介に努めます。

（８）市庁舎、公共交通機関など様々な広告媒体の活用や、市内各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発に努めます。

２．就業機会の拡大と未就業会員の解消

（１）新規就業先の開拓や請負事業や派遣事業、職業紹介事業を有効に運用し、会員の就業機会の確保・拡大に努めます。

（２）「出張就業相談会」を継続して実施し、未就業者と直接話し合いながらマッチングに努めます。

（３）未就業者対応や新たな就業先開拓のための職員を配置します。

（４）ショートメッセージサービス（SMS）で就業情報を発信し、未就業会員の解消に努めます。

（５）迅速な受託体制がとれるよう、「学童保育補助員業務」や「市広報紙配布業務」など職種に応じて「就業希望者の登録制度」の拡充を図ります。

（６）就業を取り巻く不安やストレスを解消し、会員の高齢化も踏まえ会員の就業満足度や顧客満足度の向上を目指し就業環境巡回を実施します。

（７）長期間、長時間就業の是正に取り組むとともに、公募条件の緩和も検討し多くの会員に就業機会を提供します。

（８）社会情勢に合せた就業機会の拡大を図るため、市や関係機関と連携を強化し、「空き家サポート事業」等の展開と充実を図ります。

（９）契約を長年更新している業務などについては、適正な就業形態の運用に努めます。

３．安全・適正就業の徹底

（１）トラブル・クレームや傷害事故・賠償事故の事例を踏まえ、定期的に就業現場の安全巡回を実施し、事故撲滅に取り組みます。

（２）危険な猛暑日の就業について、タイムリーな熱中症対策等の周知を図り、安全就業の徹底と事故防止に努めます。

（３）7月の安全・適正就業強化月間に安全就業の啓発活動を組織的に展開するとともに、「安全ニュース」を発行し事故事例や事故防止

の情報共有を図り安全就業意識の向上に努めます。
（４）毎月１日の「安全の日」には、安全意識の更なる高揚を図ります。なお、ワッペン着用可能な就業場所では常時着用を徹底します。
（５）事故・クレーム発生時は、当事者立ち合いの下にタイムリーな聴取・検証を行い、再発防止に努めます。
（６）健康診断受診の啓発のほか、健康維持に役立つ体力測定会やフレイル予防など健康管理教室を企画し、参加しやすい地域での開催も計画しながら健康への関心や意識の高揚を図ります。
（７）就業環境や就業形態を確認し、適正就業の推進に努めます。

４．研修・講習内容の充実
（１）発注者や地域社会から一層の信頼を得られるよう、トラブル・クレームなどの再発防止のための就業上の心構えや接遇に関する研修会を実施します。
（２）シルバー事業の運営状況や今後の事業活動に向けた理解と協力を深めるため、入会 3～5 年の会員を対象に研修会を開催します。
（３）事業理念に沿った組織体制の確立のため、地区長や班長・副班長、また仕事別グループリーダー・サブリーダーなどを対象とした研修会を実施します。
（４）技術・技能を必要とする職種について研修・講習会を実施し、後継者や新たな就業会員の育成に努めます。
（５）防犯や健康管理など関心を寄せる研修・講習会の開催に努めます。
（６）AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を含めた普通救命講習会を実施し、就業会員を中心に技能習得を図ります。
（７）情報取得・共有ためにＩＴ活用、デジタル化推進に向けた講習会を開催します。

５．地域活動の強化と組織体制の充実
（１）地区長や地域班長を中心とした地域班組織の充実と情報の共有化を図り、会員による地域の自主的な交流機会への協力に努めます。
（２）仕事別グループと事務局との連携を図り、就業体制の強化に努めます。
（３）組織活性化のため、各種事業や委員会への会員参画を促進します。
（４）地域でできる業務は、地区長・班長などと連携を図り、業務遂行による地域貢献への達成感や満足感の高揚に努めます。
（５）川越まつり事前清掃ボランティアなどの社会奉仕活動に取り組みます。

６．財政基盤の強化
（１）IT の活用に努め、事業運営に係る諸経費を見直し、経費節減に努めます。
（２）インボイス制度（適格請求書等保存方式）の開始に係る安定した財政基盤の確立に向けて調査・研究します。
（３）財政基盤の安定化と自主財源の確保に向け調査・研究を重ね、事業実績に対応した請求事務などの効率化や迅速化に努めます。